



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 出南 一彦 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	30,437	△11.9	1,050	△66.8	1,132	△69.6	815	△67.5
26年3月期第2四半期	34,531	21.2	3,161	132.8	3,726	234.2	2,510	318.7

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 3,930百万円（9.4％） 26年3月期第2四半期 3,593百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	38.26	—
26年3月期第2四半期	117.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	96,455	72,481	75.1
26年3月期	92,931	69,201	74.5

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 72,481百万円 26年3月期 69,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△2.2	5,000	△26.8	5,200	△35.0	3,600	△33.8	168.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	22,731,160株	26年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,410,277株	26年3月期	1,410,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	21,320,887株	26年3月期2Q	21,320,946株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は平成26年11月6日にTDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、欧州においては地政学的リスクの高まり等を背景に、先行きに不透明感が見られたものの緩やかな回復が継続し、米国においても堅調に推移しました。日本経済においては、消費増税に伴う内需の低迷は緩やかながらも和らぎつつあり、企業マインドにも持ち直しの兆しが見られました。

このような状況の下、当社グループは、欧州や米国での販売強化を更に進めるとともに、新しい分野でのビジネス展開に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における全体の売上高は、30,437百万円（前年同期比11.9%減）となりました。品目別の売上は次のとおりであります。

[コンピュータ用モニター]

売上高は19,404百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

一般用途向けモニターについては、国内及び海外共に好調に推移しました。また、特定用途向けモニターについては、国内では主に医療市場向けモニターの分野で消費増税に伴う需要の反動減があったものの、産業市場向けモニターの売上が増加し、海外でも各市場において総じて堅調に推移した結果、売上高が増加しました。

[アミューズメント用モニター]

売上高は5,684百万円（前年同期比52.0%減）となりました。

パチンコ遊技機の販売環境の悪化に加え、前年同期に比べ新機種の販売が減少したことから、売上高が減少しました。

[その他]

売上高は5,348百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

これは主に、医療市場向け周辺機器やアミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによります。

利益面につきましては、売上高総利益率が前年同期に比べ0.7ポイント低下しました。これは主に、コンピュータ用モニターの販売は堅調に推移したものの、アミューズメント用モニターの販売が減少したことや利益率の低いアミューズメント用ソフトウェア受託開発売上高が増加したことによります。また、研究開発費及び販売体制の強化に伴う人件費の増加や、積極的な広告宣伝活動を実施したこと等により販売費及び一般管理費が増加しました。以上の結果、営業利益は1,050百万円（前年同期比66.8%減）、経常利益は1,132百万円（同69.6%減）、四半期純利益は815百万円（同67.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は3,523百万円増加し、96,455百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の増加や戦略的調達に伴うたな卸資産の増加、保有株式の株価の上昇により投資有価証券の評価額が増加したことによります。負債の部は、243百万円増加し、23,974百万円となりました。純資産の部は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加等により3,280百万円増加し、72,481百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の連結業績を反映させ、平成26年5月1日公表の通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成26年10月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(連結業績予想)

通期	売上高	72,000百万円	(前回発表予想比	11.1%減)
	営業利益	5,000百万円	(前回発表予想比	35.9%減)
	経常利益	5,200百万円	(前回発表予想比	35.8%減)
	当期純利益	3,600百万円	(前回発表予想比	34.5%減)

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に近似する年数から退職給付支払ごとの支払見込期間を反映したものへ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当会計方針の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,280	7,317
受取手形及び売掛金	14,883	11,294
有価証券	12,000	9,500
商品及び製品	7,862	9,279
仕掛品	6,666	7,520
原材料及び貯蔵品	10,846	13,351
その他	2,440	2,812
貸倒引当金	△117	△94
流動資産合計	61,861	60,982
固定資産		
有形固定資産	8,190	8,284
無形固定資産	2,517	2,299
投資その他の資産		
投資有価証券	19,453	24,079
その他	909	809
投資その他の資産合計	20,362	24,889
固定資産合計	31,070	35,473
資産合計	92,931	96,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,198	7,980
未払法人税等	1,906	141
賞与引当金	1,240	985
ソフトウェア受注損失引当金	-	29
製品保証引当金	1,639	1,731
その他	3,825	3,591
流動負債合計	15,810	14,459
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	1,141	1,095
退職給付に係る負債	2,610	2,689
その他	4,065	5,627
固定負債合計	7,919	9,514
負債合計	23,730	23,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	54,043	54,208
自己株式	△2,661	△2,661
株主資本合計	60,121	60,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,162	12,183
為替換算調整勘定	153	208
退職給付に係る調整累計額	△235	△197
その他の包括利益累計額合計	9,079	12,194
純資産合計	69,201	72,481
負債純資産合計	92,931	96,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)
売上高	34,531	30,437
売上原価	23,631	21,027
売上総利益	10,900	9,409
販売費及び一般管理費	7,739	8,359
営業利益	3,161	1,050
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	122	156
為替差益	460	-
その他	23	14
営業外収益合計	615	181
営業外費用		
売上割引	41	35
為替差損	-	62
その他	8	1
営業外費用合計	50	99
経常利益	3,726	1,132
特別利益		
投資有価証券売却益	16	-
特別利益合計	16	-
特別損失		
減損損失	16	-
特別損失合計	16	-
税金等調整前四半期純利益	3,726	1,132
法人税、住民税及び事業税	1,197	178
法人税等調整額	18	138
法人税等合計	1,216	316
少数株主損益調整前四半期純利益	2,510	815
四半期純利益	2,510	815

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,510	815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	652	3,021
繰延ヘッジ損益	△8	-
為替換算調整勘定	438	54
退職給付に係る調整額	-	38
その他の包括利益合計	1,083	3,115
四半期包括利益	3,593	3,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,593	3,930
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,726	1,132
減価償却費	665	840
のれん償却額	100	107
引当金の増減額 (△は減少)	△118	△190
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	116
売上債権の増減額 (△は増加)	△621	3,581
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,687	△4,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,318	787
その他	△7	△1,032
小計	1,375	562
利息及び配当金の受取額	128	167
法人税等の支払額	△642	△1,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	861	△1,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△676	△791
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△200	△35
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	30	3
その他	△26	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△872	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△533	△640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533	△640
現金及び現金同等物に係る換算差額	302	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241	△2,362
現金及び現金同等物の期首残高	16,138	19,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,896	16,717

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っていません。

4. 補足情報

販売の状況

品目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)		増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
コンピュータ用モニター	18,122	52.5	19,404	63.8	1,281
アミューズメント用モニター	11,839	34.3	5,684	18.7	△6,155
その他	4,569	13.2	5,348	17.5	779
合計	34,531	100.0	30,437	100.0	△4,094

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。